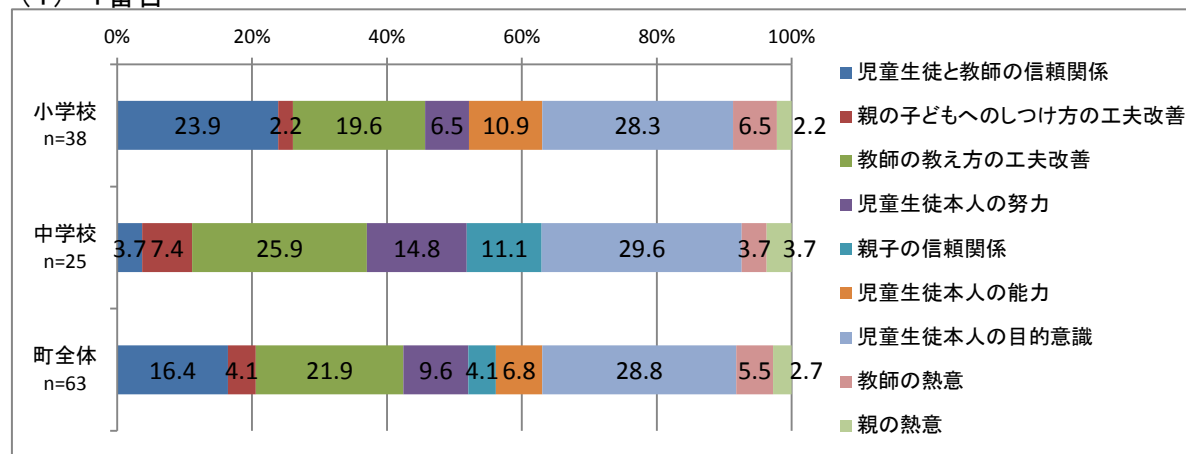


平成20年度 鶴田町学力向上推進実態調査結果について

教師用

2 あなたは、児童生徒の学力が向上する要因として、何が大切だと思いますか。次の中から、大切だと思う順に3つ選び、番号で教えてください。

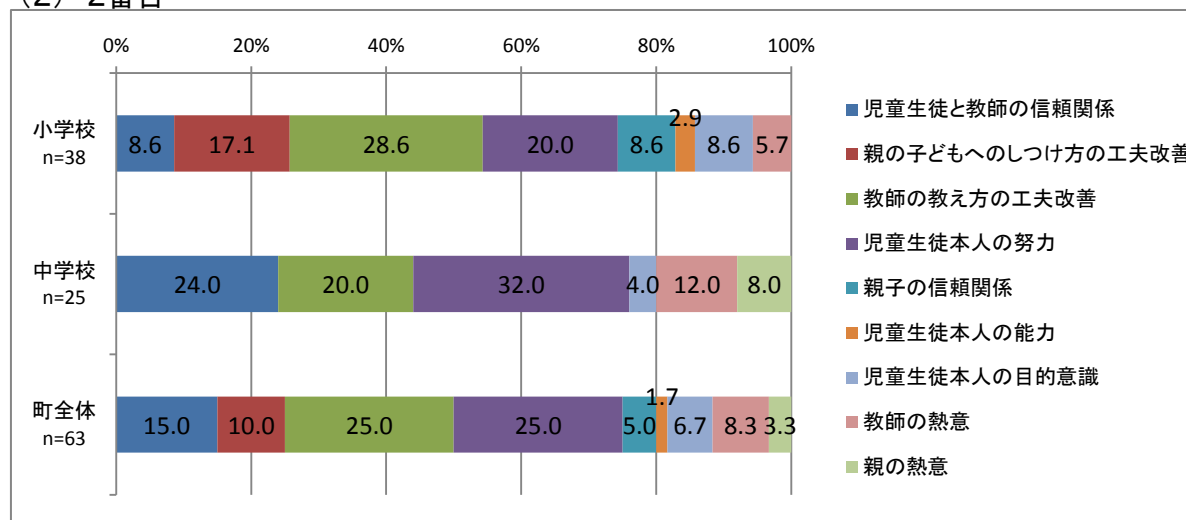
(1) 1番目



◆児童生徒の学力が向上する1番目の要因として、「児童生徒と教師の信頼関係」と認識している教師が小学校で23.9%、中学校で3.7%と差が出た。

・「教師の教え方の工夫改善」「児童生徒の目的意識」を1番目にとらえている教師が小学校、中学校ともに多い。

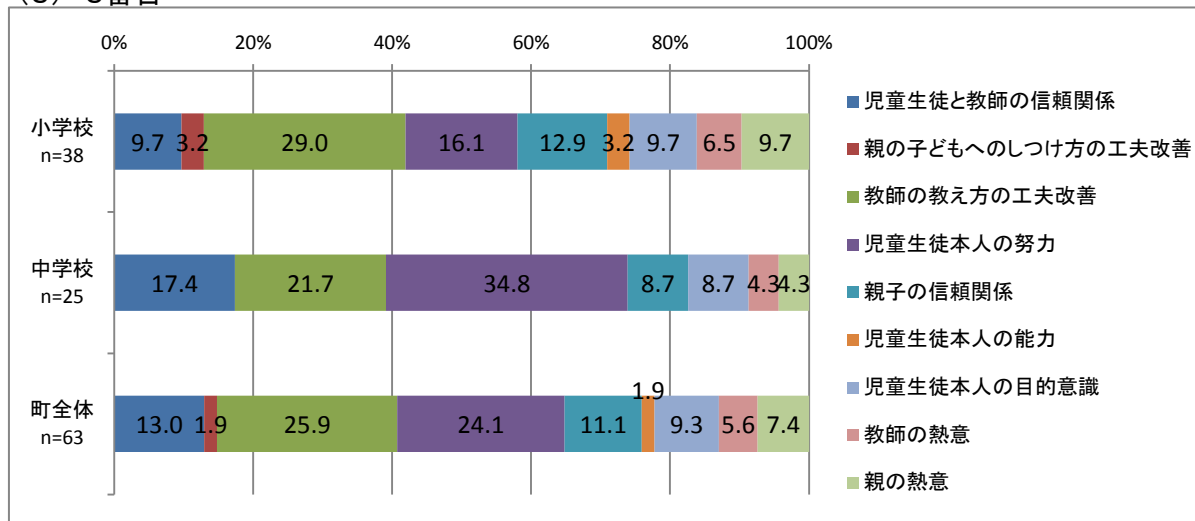
(2) 2番目



◆児童生徒の学力が向上する2番目の要因として、「親の子どもへのしつけ方の工夫改善」と認識している教師が、小学校では17.1%いるが、中学校ではなしであった。

・また、2番目の要因として「児童生徒本人の努力」と認識している教師が町全体で25.0%いる。

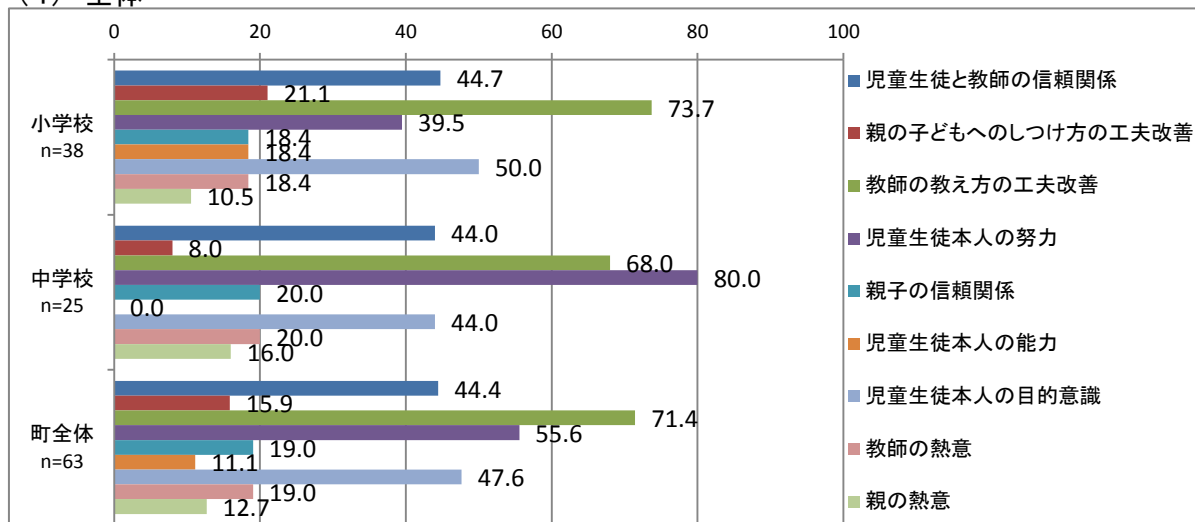
(3) 3番目



◆児童生徒の学力が向上する3番目の要因として、「児童生徒と教師の信頼関係」「教師の教え方の工夫改善」「児童生徒本人の努力」と認識している教師が多い。

・また、3番目に「親子の信頼関係」と認識している教師も町全体で11.1%いる。

(4) 全体

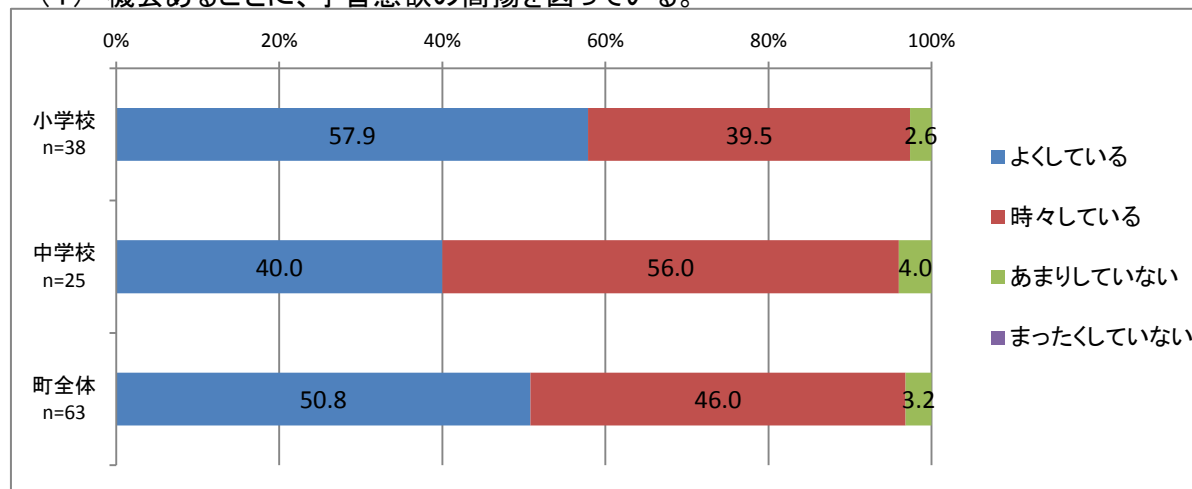


◆全部を合わせてみると、小学校では「教師の教え方の工夫改善」73.7%、「児童生徒本人の目的意識」50.0%、「児童生徒と教師の信頼関係」44.7%の順となっている。

◆中学校では「児童生徒本人の努力」80.0%、「教師の教え方の工夫改善」68.0%、「児童生徒と教師の信頼関係」「児童生徒本人の目的意識」44.0%の順となっている。

3 あなたは、児童生徒の家庭学習を習慣化するため、どのようなことをしていますか。(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまる番号を○で囲んでください。(5)は、よくしていることで他にもあったら記入してください。

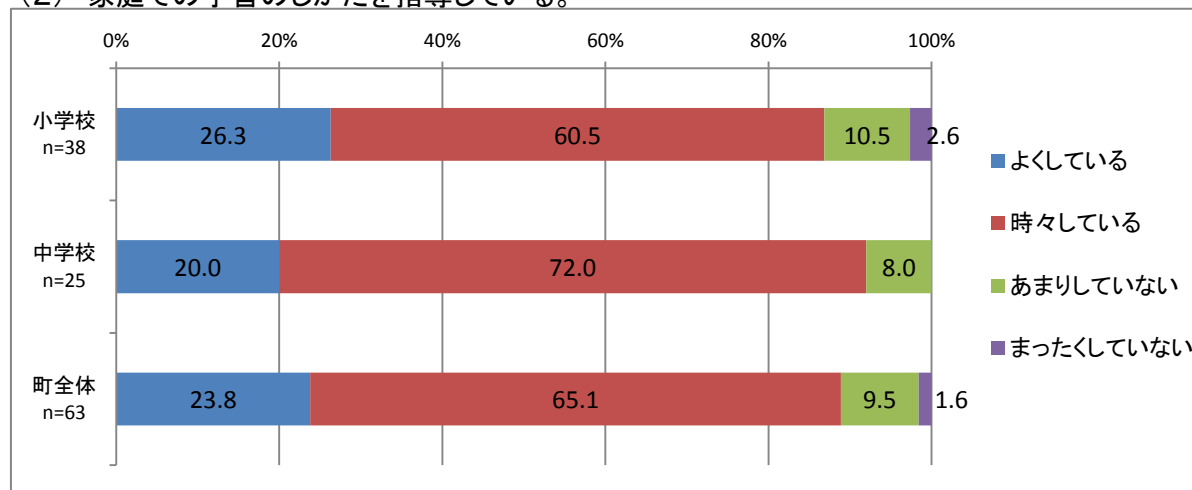
(1) 機会あるごとに、学習意欲の高揚を図っている。



◆機会あるごとに、学習意欲の高揚を図っているのは、小学校で「よくしている」「時々している」合わせて97.4%、中学校で96.0%となっている。

・小学校では全教科を担当している分、指導の機会が多いが、中学校では主要教科・技能教科で違うため、中学校の方が「よくしている」割合が低くなっているのではないかな。

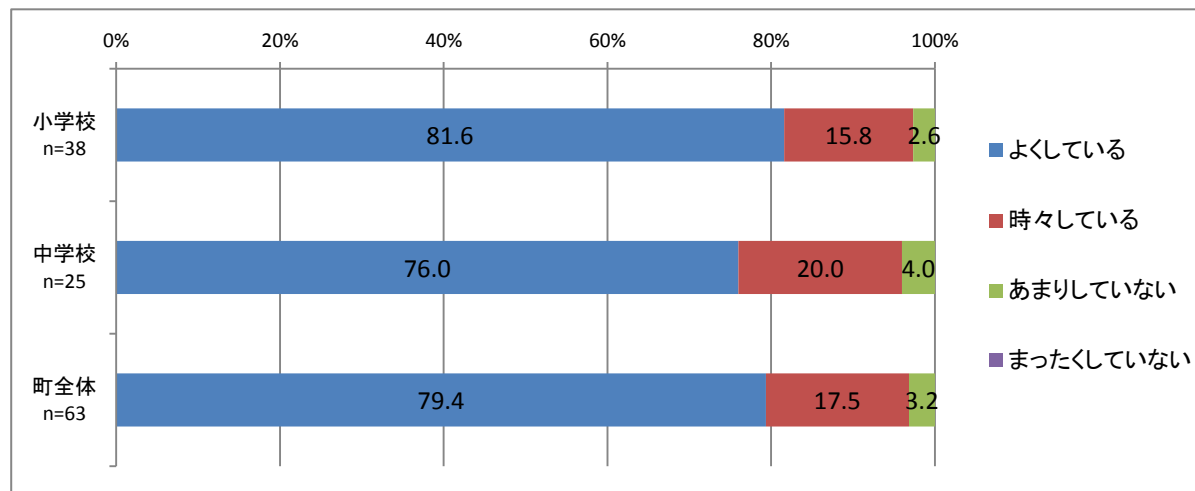
(2) 家庭での学習のしかたを指導している。



◆家庭での学習のしかたを指導しているのは、小学校で「よくしている」26.3%、「時々している」60.5%、中学校で「よくしている」20.0%、「時々している」72.0%となっている。

・時々では十分やっているとは言えないので、意識して指導する必要がある。

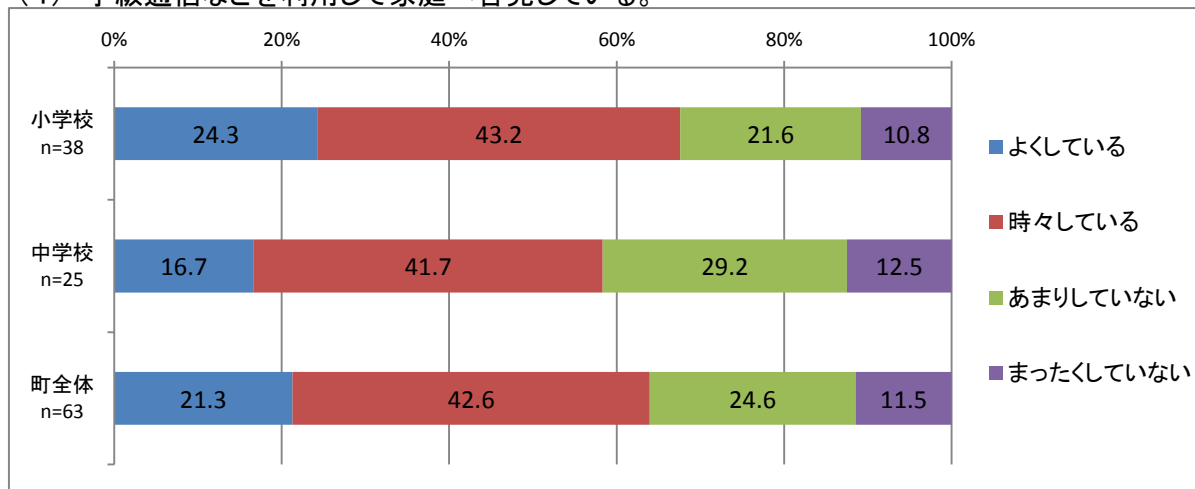
(3) 宿題(課題)を出すとともに点検活動もしている。



◆宿題(課題)を出すとともに点検活動もしているのは、小学校では「よくしている」81.6%、「時々している」15.8%、中学校で「よくしている」76.0%、「時々している」20.0%となっている。

- ・小学校・中学校ともに十分やられている。これからも継続が望まれる。
- ・空き時間を点検活動に当てている。

(4) 学級通信などを利用して家庭へ啓発している。

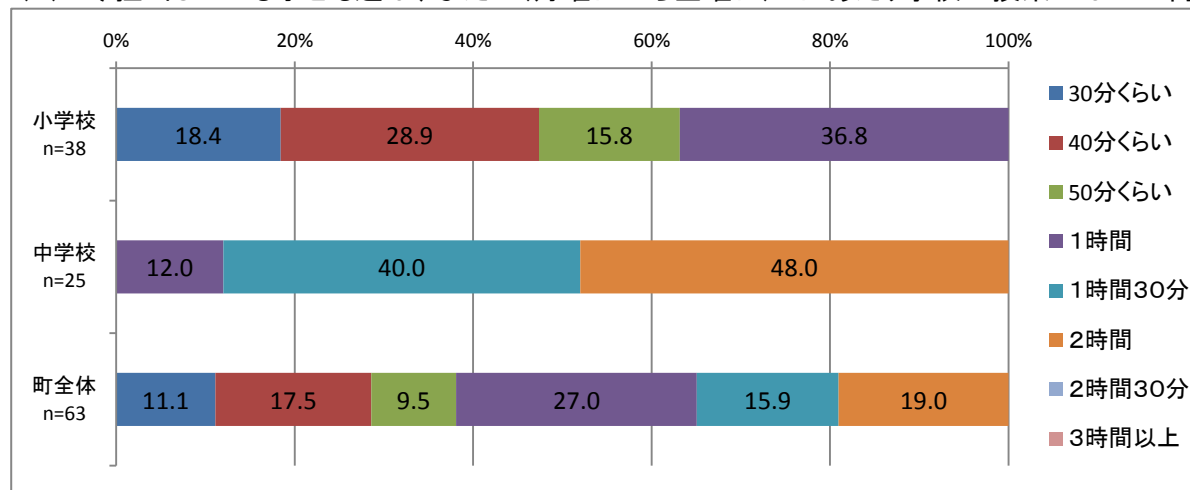


◆学級通信などを利用して家庭へ啓発しているのは、小学校では「よくしている」24.3%、「時々している」43.2%。中学校では「よくしている」16.7%、「時々している」41.7%となっている。

- ・学級通信を利用して家庭学習を習慣化するための啓発をしている教師は少ない。通信の内容は、生活面が多い。
- ・中学校では担任・副担任の関係で、「あまりしていない」「まったくしていない」合わせて41.7%となっている。

4 家庭学習のあり方について質問します。

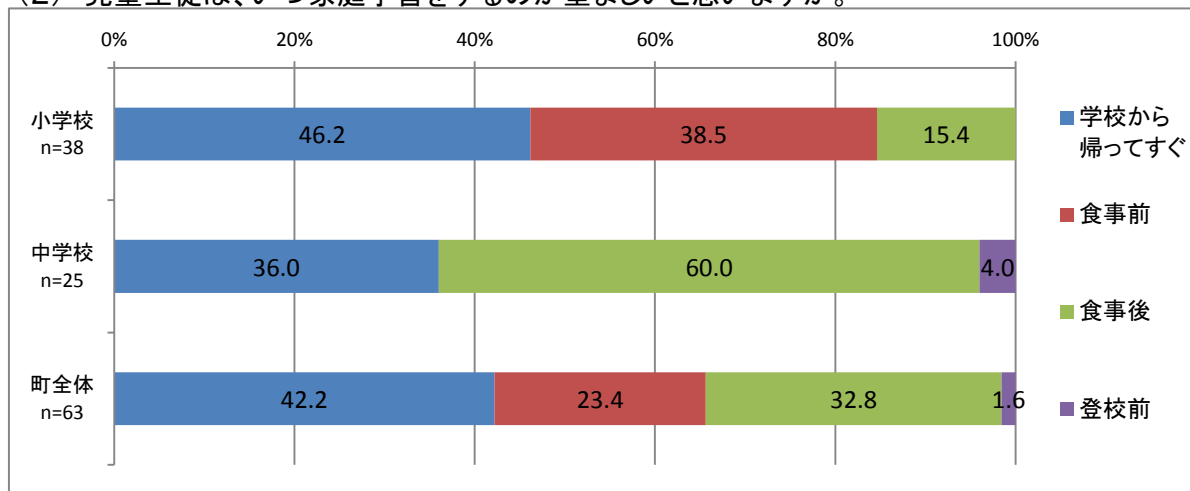
(1) 今担当している子ども達は、ふだん(月曜日から金曜日)1日あたり学校の授業のほかに何時間くらい勉強が必要だと思いますか。



◆児童生徒の学習時間の目安として、
小学校の先生は 学年×10分
中学校の先生は 学年×1時間を
勧めています。

- ・中学校は部活の負担が高く、現実的には無理な面もある。部活の終了時刻の目安などを示す必要があるのではないか。

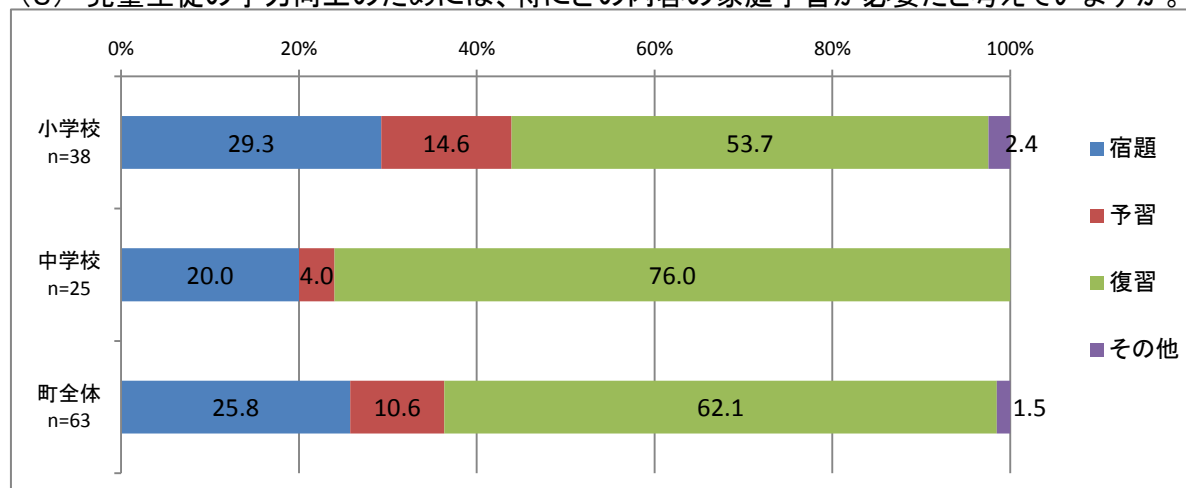
(2) 児童生徒は、いつ家庭学習をするのが望ましいと思いますか。



◆いつ家庭学習をするのが望ましいかでは、
小学校では「学校から帰ってすぐ」46.2%、
「食事前」38.5%となっている。
中学校では「食事後」60.0%、「学校から帰って
すぐ」36.0%となっている。

- ・生活時間や帰宅時間に左右されるため、小学校と中学校とでは差が見られる。
- ・サンシャインスクールとの関連で、小学校は帰宅後すぐやる児童が多い。

(3) 児童生徒の学力向上のためには、特にどの内容の家庭学習が必要だと考えていますか。一つだけに○をつけてください。



◆学力向上のために必要な家庭学習の内容は、小学校では「復習」53.7%、宿題29.3%となっている。中学校では「復習」76.0%、「宿題」20.0%となっている。

・家庭学習は、「復習」を中心に取り組ませるべきと認識している教師が小学校で53.7%、中学校で76.0%いる。